

理科室の環境を整えよう

1 理科室の環境を整えよう

「教える理科室」から「共に学ぶ理科室」へと変わるには、どうしたらよいでしょう。

子供たちが一歩足を踏み入れたとたんに学びたくなるような理科室、また来たくなるような理科室を考えてみましょう。そのためには、学びは自分だけにあるのではなく、回りじゅうに、理科室のいたるところに、友達の中に、先生の言葉の中にあると考えた方がいいのではないのでしょうか。そんなことを願って理科室の環境を考えてみました。

① 理科の目標とするところを掲げます。

(例) 科学する心

きちんとした心 (時間におくれない、ノートをていねいにとる、実験には真剣に取り組むなど)

うたがう心 (どうしてかなと疑問に思う、不思議に思ってみる)

やってみる心 (計画を立てるだけでなくまずは実践してみる)

② 発言しやすい雰囲気をつくります。

(例) こう言えば手があがる

たぶん・・・

ひょっとしたら・・・

・・・かもしれない

③ 理科室の約束などを掲げます。

(例) しっかり聞きましょう。

よく見つめましょう。

互いに協力しましょう。

④ 黒板を子供たちに開放します。

子供たちが自分の考えを絵や図を使って黒板に表現する場をつくります。

⑤ 直接体験できないようなもの、例えば流水のはたらき、気象、地層、人体、人の誕生などはビデオなどを利用すると非常に効果的です。

⑥ グループ活動のまとめをするときなど、ガンピが近くにあると便利です。

⑦ フラスコ、ビーカー、アルコールランプなどをペーパーサートにしておくとう便利です。

⑧ OHPなどを置いておくと、子供が自由に自分のノートを写し出し説明することが可能です。

- ⑨ 実験・観察に必要な小物など、例えば、マジック、ストロー、ナイロン袋、セロテープなどが身近にあると便利です。
- ⑩ 教室の壁に方位が示されていると、気象や太陽や月、星の学習などに大いに活用できます。
- ⑪ 暗幕があると、光の学習やスライドを映したりするときなど便利です。
- ⑫ グループでまとめるときなど、近くに百科事典や図鑑などがあると参考になります。
- ⑬ アルコールランプの使い方、メスシリンダーの使い方、上皿てんびんの使い方などが図で示されていると参考になります。
- ⑭ ノートは図解風にかかせ、できるだけ掲示すると、よりよいノートになっていきます。

「教える教室」から「共に学ぶ理科室」へ

